

第3【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

当社グループは、Kiru・Kezuru・Migaku技術を中心に、環境保全に配慮した製品作りを前提にして、長期的に成長が期待できる製品分野に重点を置いて、研究開発や生産能力増強並びに合理化、省力化などの投資を行っております。当連結会計年度の設備投資（有形固定資産および無形固定資産の受入ベース数値。金額には消費税等は含まれておりません。）の内容は、次のとおりであります。

	当連結会計年度	前年同期比
電子業界関連製品事業	10,353百万円	83.1%
産業用研削製品事業	20	83.7
その他事業	3	71.7
計	10,377	83.1
消去又は全社	1,248	123.6
合計	11,626	86.1

電子業界関連製品事業では、設備投資額の大半が当社の設備投資（9,755百万円）であり、その主なものは桑畑工場の新棟建設等であります。連結子会社の設備投資額の主なものは、生産設備の取得等によるものであります。

産業用研削製品事業では、生産設備の取得等によるものであります。

消去又は全社では、桑畑工場の新棟建設等によるものであります。

また、所要資金は、自己資金および転換社債によっております。

2 【主要な設備の状況】

当社グループにおける主要な設備は、以下のとおりであります。

(1) 提出会社

(平成22年3月31日現在)

事業所名 (所在地)	事業の種類別 セグメントの名称	設備の内容	帳簿価額 (百万円)					従業員数 (人)
			建物及び 構築物	機械装置 及び運搬具	土地 (面積千㎡)	その他	合計	
呉工場 (広島県呉市)	電子業界関連製品 事業・産業用研削 製品事業・管理業 務	精密加工ツール並 びに研削工具生産 設備	1,913	888	1,191 (16)	78	4,071	192 [430]
桑畑工場 (広島県呉市)	電子業界関連製品 事業	精密加工装置・ 精密部品生産設備	13,932	1,549	1,426 (103)	1,089	17,998	344 [361]
長谷工場 (広島県呉市)	電子業界関連製品 事業	精密部品生産設備	754	901	412 (19)	29	2,097	61 [42]
本社・R&D センター (東京都大田区)	電子業界関連製品 事業・産業用研削 製品事業・全社的 管理業務	研究開発施設設備 ・販売業務設備 ・その他設備	10,611	1,920	8,210 (11)	1,401	22,143	964 [47]
茅野工場 (長野県茅野市)	電子業界関連製品 事業	電動機他生産設備	54	6	186 (69)	1,979	2,226	— [—]

(2) 国内子会社

(平成22年3月31日現在)

会社名	事業所名 (所在地)	事業の種類 別セグメン トの名称	設備の内容	帳簿価額 (百万円)					従業員数 (人)
				建物及び 構築物	機械装置 及び運搬具	土地 (面積千㎡)	その他	合計	
株テクニスコ	虹村工場 (広島県呉市)	電子業界関 連製品事業	精密電子部 品生産設備	326	253	788 (6)	23	1,391	101 [18]

(3) 在外子会社

(平成22年3月31日現在)

会社名	事業所名 (所在地)	事業の種類 別セグメン トの名称	設備の内容	帳簿価額 (百万円)					従業員数 (人)
				建物及び 構築物	機械装置 及び運搬具	土地 (面積千㎡)	その他	合計	
DISCO HI-TEC AMERICA, INC.	本社 (米国カリフ フォルニア)	電子業界関 連製品事業	その他設備	111	6	71 (2)	11	200	39 [2]
DISCO HI-TEC EUROPE GmbH	本社 (ドイツ国 ミュンヘン)	電子業界関 連製品事業	その他設備	282	25	103 (1)	6	417	59 [—]

(注) 1. 帳簿価額のうち「その他」は、工具、器具及び備品、建設仮勘定等の合計であります。なお、金額には消費税等を含みません。

2. 現在休止中の主要な設備はありません。

3. 従業員数の〔 〕は、臨時従業員数を外書しております。

4. 茅野工場の設備は、提出会社から国内子会社の株式会社ダイイチコンポーネンツに賃貸しているものであります。なお、提出会社は、茅野工場で主力砥石製品を分散生産する体制を検討しており、老朽化した現製造棟に代わり、免震構造を採用した新棟を建設中であります。

3 【設備の新設、除却等の計画】

当社グループの設備投資については、景気予測、半導体業界や電子部品業界の動向、投資効率等を総合的に勘案して策定しております。設備計画は原則的には連結会社各社が個別に策定しておりますが、計画策定に当っては連結会社各社と当社において調整を図っております。

なお、当連結会計年度末現在における重要な設備の新設計画は、次のとおりであります。

会社 事業所名	所在地	事業の種類別 セグメントの名称	設備の内容	投資予定金額		資金調 達方法	着手および 完了予定年月		完成後 の増加 能力
				総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手	完了	
当社 広島事業所	広島県 呉市	電子業界関連製品事 業・管理業務	生産設備他	1,833	—	自己資金 および 転換社債	平成22年 4月	平成23年 3月	(注) 1
当社 本社・R&D センター	東京都 大田区	電子業界関連製品事 業・全社管理業務	研究開発設備・ 情報関連設備他	2,375	—	自己資金 および 転換社債	平成22年 4月	平成23年 3月	—
当社 呉工場	広島県 呉市	電子業界関連製品事 業	精密加工ツール 生産設備	2,500	—	自己資金 および 転換社債	平成22年 1月	平成23年 11月	(注) 2
当社 茅野工場	長野県 茅野市	電子業界関連製品事 業	電動機他生産設備	3,000	1,881	自己資金 および 転換社債	平成20年 8月	平成22年 6月	(注) 2

(注) 1. 生産設備は、生産能力増強および合理化投資であります。

2. 主な目的は、事業継続の対応力強化および合理化投資であり、完成後の生産能力は強化されます。